

インフルエンザ

インフルエンザは鼻、のど、肺などに感染するインフルエンザウイルスによる感染性の呼吸器疾患です。ほとんど無症状の場合から重篤になる場合まであります。

症状

以下の症状（いくつか、もしくは、すべて）がみられます。

- ・ 発熱，熱感（すべてのインフルエンザ患者に高熱がみられるわけではありません）
- ・ 咳
- ・ 咽頭痛
- ・ 鼻水，鼻づまり
- ・ 筋肉痛，関節痛
- ・ 頭痛
- ・ 倦怠感（とてもしんどい）
- ・ 嘔吐，下痢

潜伏期

潜伏期は約 1～4 日，平均約 2 日です。

感染経路

咳やくしゃみをした時のしぶきに含まれるウイルスによって感染します。ウイルスが付着した物を触った手で、自分の口や鼻を触ったりしても感染します。

予防法

ワクチン接種が有効です。また、インフルエンザ（疑い）患者に近づかない、マスクを着用する、咳エチケットを守る、こまめに手洗いする、といったことが感染の拡大を防ぎます。

（” Inﬂuenza (Flu),” Centers for Disease Control and Prevention, <https://www.cdc.gov/flu/index.htm> より）

インフルエンザと診断された場合

インフルエンザと診断された場合は、登校・出勤せず、担当事務ならびに保健管理センターにご連絡ください。

・学校における出席停止期間の基準

発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日を経過するまで
(学校保健安全法施行規則)

・病院職員ならびに診療に従事する者

まず、病院感染制御部 (Tel: 082-257-5372) に連絡の上、その指示に従ってください。

ご不明な点があれば、ご相談ください。

保健管理センター (Tel: 082-424-6192, email: health@hiroshima-u.ac.jp)